

第 1 章

令和 4 年の労働情勢と労働委員会活動の概況

第 1 節	労働情勢の概況-----	1
第 2 節	労働委員会活動の概況-----	5

第1章 令和4年の労働情勢と労働委員会活動の概況

第1節 労働情勢の概況

1 労働経済の状況

(1) 全国の状況

総務省の「労働力調査」によれば、令和4年の年平均の完全失業率は2.6%で、前年に比べ0.2ポイントの低下となった。一方、完全失業者数は令和4年平均179万人で、前年に比べ16万人減少し、3年ぶりの減少となった。

また、厚生労働省の「一般職業紹介状況」によれば、令和4年平均の有効求人倍率が1.28倍となり、前年の1.13倍を0.15ポイント上回る結果となった。令和4年平均の有効求人数は前年に比べ12.7%増となり、有効求職者数は0.7%減となった。

(2) 福島県の状況

令和4年の新規求人倍率は2.16倍（前年1.95倍）、有効求人倍率は1.42（前年1.28倍）となり、前年を上回る状況となった（図1、図2）。

また、令和4年の負債額が1,000万円以上の企業倒産の状況は、件数は67件（前年50件）、負債総額は9,684百万円（前年11,923百万円）であった。

（出典：福島労働局職業安定部「令和4年12月分及び令和4年分 最近の雇用失業情勢」、帝国データバンク「全国企業倒産集計2022年報」）

図1 新規求人倍率の推移（H30～R4）

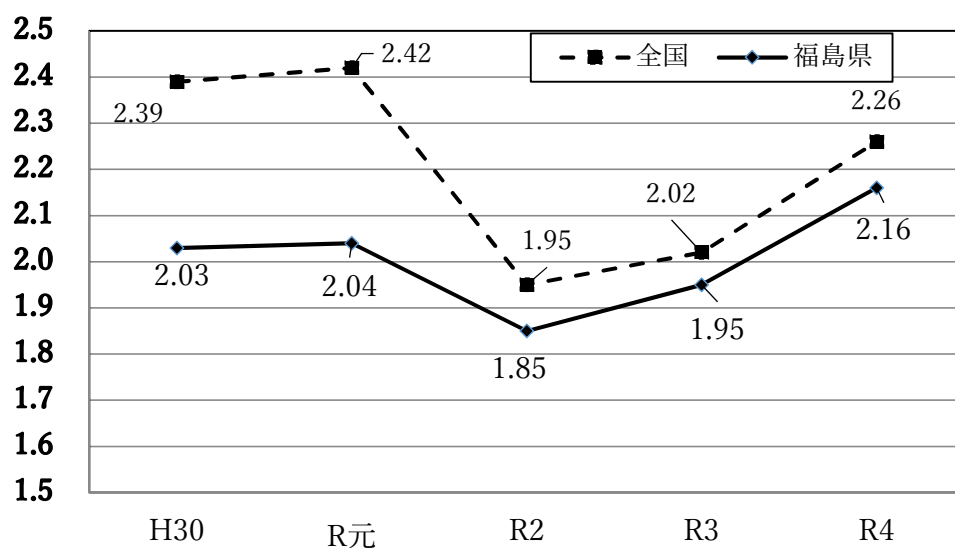
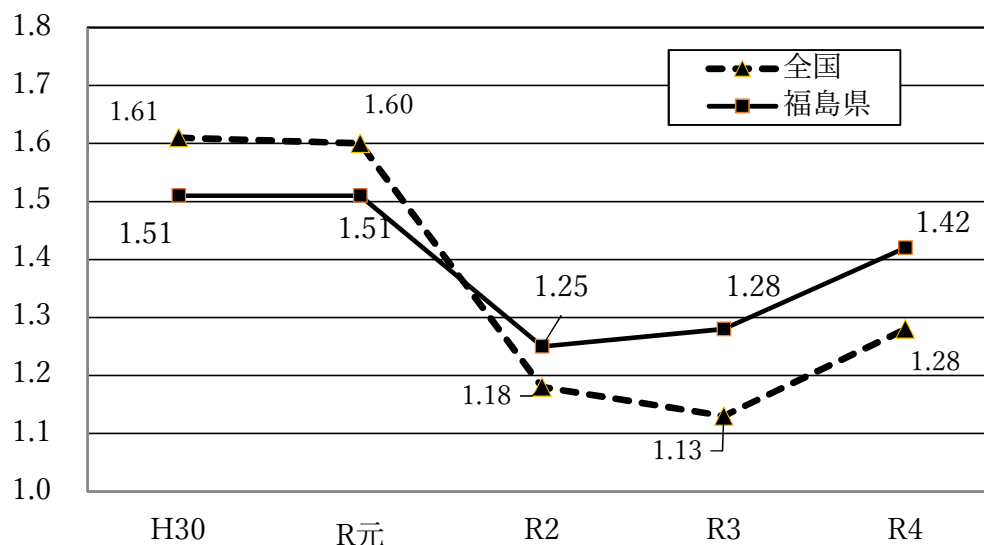


図2 有効求人倍率の推移（H30～R4）



2 春闘・一時金の交渉状況

(1) 春闘

厚生労働省の調査による民間主要企業の令和4年の春季賃上げ妥結状況は、平均要求額8,544円に対し平均妥結額6,898円（賃上げ率2.20%）となり、前年の5,854円（賃上げ率1.86%）を額で1,044円、率で0.34ポイント上回った。賃上げ額、賃上げ率はともに昨年を上回り、コロナ禍前の令和元年をわずかに上回った。

産業別の妥結状況をみると、妥結額の最も高い産業は精密機器（9,511円）で、以下、建設（9,334円）、金融・保険（8,983円）などの順となっている。

一方、妥結額の最も低い産業は非鉄金属（3,920円）で、以下、窯業（3,979円）、電力・ガス（4,942円）などの順となっている（金額は加重平均）。

（出典：厚生労働省「令和4年民間主要企業春季賃上げ要求・妥結状況」）

(2) 夏季一時金

厚生労働省の調査による民間主要企業の令和4年の夏季一時金の妥結状況は、平均要求額869,956円に対し平均妥結額が832,340円で、前年に比べ58,708円（7.59%）の増となった。

妥結額の最も高い産業は、化学（1,008,350円）で、以下、鉄鋼（992,406円）、建設（978,922円）などの順となっている。一方、妥結額の最も低い産業は、サービス（482,530円）で、以下、卸・小売（527,960円）、運輸（547,331円）などの順となっている（金額は加重平均）。

（出典：厚生労働省「令和4年民間主要企業夏季一時金妥結状況」）

(3) 年末一時金

厚生労働省の調査による民間主要企業の令和4年の年末一時金の妥結状況は、平均要求額 871,255 円に対し平均妥結額が 842,978 円で、妥結額は前年に比べ 60,780 円 (7.77%) の増となった。

最も高い産業は、鉄鋼(1,002,332 円)であり、以下、自動車(963,771 円) 窯業 (959,580 円)などの順となっている。一方、妥結額の最も低い産業は、卸・小売業(592,124 円)で、以下、サービス(596,894 円)、運輸(619,700 円)などの順となっている(金額は加重平均)。

(出典：厚生労働省「令和4年民間主要企業年末一時金妥結状況」)

3 労働組合の組織状況

厚生労働省が毎年6月30日現在で行う「労働組合基礎調査」によると、令和4年の全国における単位労働組合数は47,495組合で、前年に比べ744組合減少(△1.5%)した。単位労働組合員数は992万7千人で、前年に比べ8万4千人減少(△0.8%)した。また、単一労働組合数は23,046組合で、前年に比べ346組合減少(△1.5%)した。単一労働組合員数は999万2千人で、前年に比べ8万6千人減少(△0.8%)した(注1)。

労働組合員数を、「労働力調査」(総務省統計局実施)の雇用者数(6月分)の原数値)で除して得られる推定組織率は16.5%で、前年に比べ0.4ポイント減少した(図3)。

一方で、単位労働組合に加入するパートタイム労働者は140万4千人で、前年の136万3千人に比べ4万1千人増加(3.0%)した。全体の労働組合員数に占める割合は14.1%で前年の13.6%より0.5ポイント増加した。

パートタイム労働者の労働組合員数を、全体のパートタイム労働者数で除した推定組織率については、8.5%で、前年の8.4%より0.1ポイント増加した。(注2、図4)。

産業別に単位労働組合の労働組合員数をみると、製造業が264万5千人(26.6%)と約3割近くを占め、次いで、卸売業・小売業153万4千人(15.5%)、建設業83万7千人(8.4%)の順となっている。

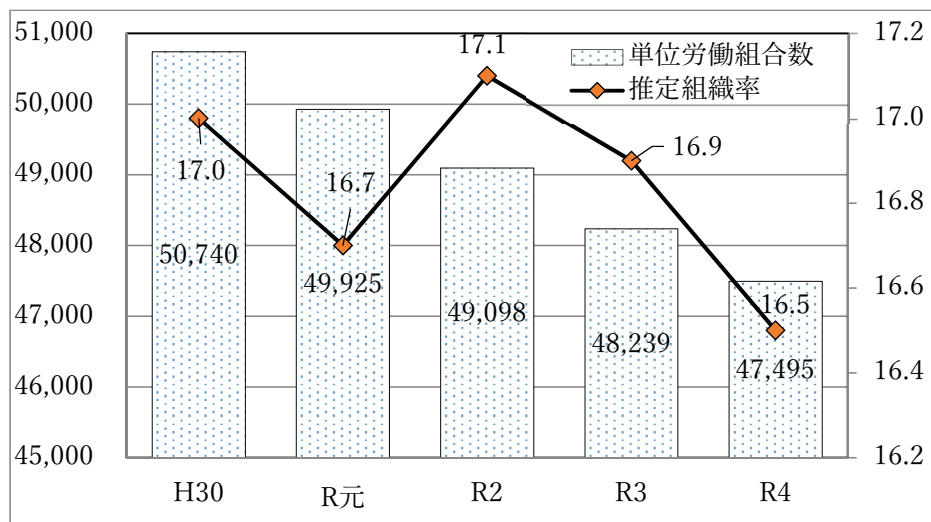
注1 単位労働組合とは、「単位組織組合(規約上労働者が当該組織に個人加入する形式をとり、かつ、その内部に独自の活動を行い得る下部組織(支部、分会等)を持たない労働組合をいう。)」及び単一組織組合(規約上労働者が当該組織に個人加入する形式をとり、かつ、その内部に独自の活動を行い得る下部組織(支部、分会等)を有する労働組合をいう。)の下部組織である「単位扱組合」をいう。

単一労働組合とは、「単位組織組合」及び「単一組織組合」をいう。

注2 「パートタイム労働者」とは、正社員・正職員以外で、その事業所の一般労働者より1日の所定労働時間が短い労働者、1日の所定労働時間が同じであっても1週の所定労働日数が少ない労働者又は事業所においてパートタイマー、パート等と呼ばれている労働者をいう。

(出典：厚生労働省「令和4年労働組合基礎調査」)

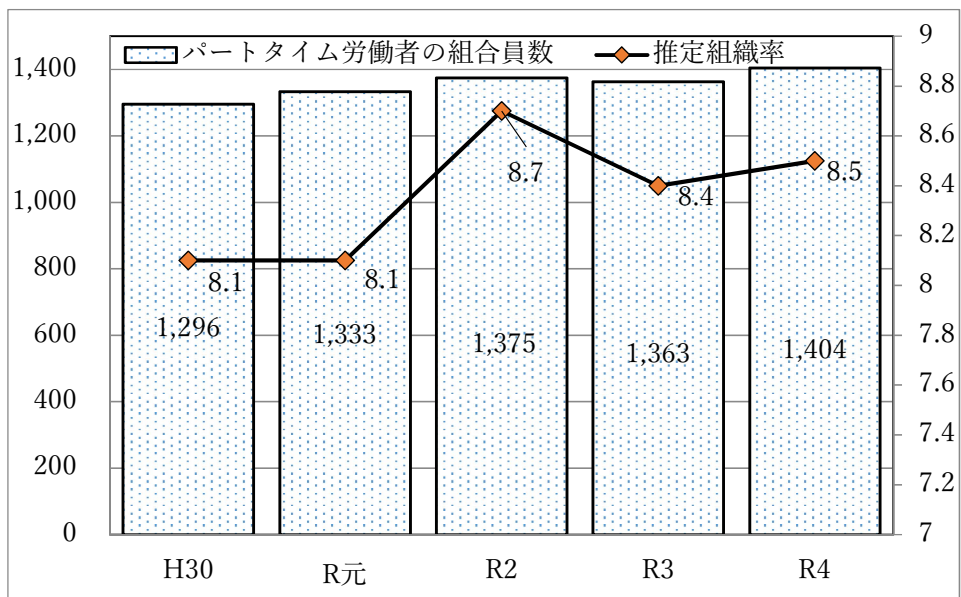
図3 単位労働組合数と推定組織率の推移（H30～R4）



(組合)

(%)

図4 パートタイム労働者の組合員数と推定組織率（H30～R4）



(千人)

(%)

第2節 労働委員会活動の概況

1 主な活動

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| (1) 総会 | 13 回開催 (第 1012～第 1024 回) |
| (2) 委員研修会 | 11 回開催 |
| (3) 公益委員会議 | 4 回開催 (第 526～第 529 回) |
| (4) 審査事件 | なし |
| (5) 再審査事件 | なし |
| (6) 行政訴訟事件 | なし |
| (7) 調整事件 | 2 件 (すべて終結) |
| (8) 個別調整事件 | 2 件 (すべて終結) |
| (9) 労働困りごと相談会 | (現地相談会) 4 回実施 (委員相談会) 2 回実施 |
| (10) ワークルール出前講座 | 16 回実施 |

2 月別活動概況

月 日	内 容
1. 7	ワークルール出前講座 (桜の聖母短期大学) 講師 石山純恵委員 (使用者委員)
1. 13	ワークルール出前講座 (県立須賀川高等学校) 講師 大越香代子委員 (労働者委員)
1. 20	ワークルール出前講座 (私立聖光学院高等学校) 講師 石山純恵委員 (使用者委員)
1. 25	第 1012 回総会 (ウェブ開催)
〃	委員研修会 (ウェブ開催) 「産業医介入を要した職場のメンタル対応について」 講師 福島県立医科大学 医学部 衛生学・予防医学講座 准教授 各務 竹康 氏
〃	第 526 回公益委員会議 (ウェブ開催)
1. 28	ワークルール出前講座 (県立郡山北工業高等学校) 講師 板橋正治委員 (使用者委員)

月 日	内 容
1. 31	ワークルール出前講座（県立湖南高等学校） 講師 平石典生会長（公益委員）
”	ワークルール出前講座（県立大沼高等学校） 講師 穴澤耕二委員（使用者委員）
2. 2	ワークルール出前講座（しらかわ介護福祉専門学校）（ウェブ開催） 講師 坂路芳知委員（労働者委員）
2. 14	ワークルール出前講座（県立郡山萌世高等学校） 講師 吉高神明委員（公益委員）
2. 22	第 1013 回総会（ウェブ開催）
”	委員研修会（ウェブ開催） 「障害者雇用状況、障害者雇用における合理的配慮及び雇用支援の内容について」 講師 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部 福島障害者職業センター 所長 奥村 博志 氏
3. 22	第 1014 回総会（自治会館）
”	委員研修会（自治会館） 「トラック運送業界の現状と課題について」 講師 永山 忍 委員（使用者委員）
4. 26	第 1015 回総会（本庁舎）
”	委員研修会（本庁舎） 「懲戒解雇に関する労働審判事件について」 講師：平石 典生 会長（公益委員）
”	第 527 回公益委員会議（本庁舎）

月 日	内 容
5.20	ワークルール出前講座（テクノアカデミー会津） 講師 二瓶優子委員（公益委員）
5.24	第1016回総会（本庁舎）
〃	委員研修会（本庁舎） 「令和4年度北海道及び東北六県労働委員会連絡協議会総会に係る研修課題の検討について」
6.17	ワークルール出前講座（桜の聖母短期大学） 講師 石山純恵委員（使用者委員）
6.27	ワークルール出前講座（福島大学） 講師 吉高神明委員（公益委員）
6.28	第1017回総会（臨時）（自治会館）
〃	第1018回総会（自治会館）
7.14	令和4年度第1回労働困りごと現地相談会 福島県社会福祉協議会（福祉職員中堅職員研修にブース設置）
7.22	令和4年度第2回労働困りごと現地相談会 福島県社会福祉協議会（福祉職員中堅職員研修にブース設置）
7.26	第1019回総会（本庁舎）
〃	委員研修会（本庁舎） 「会津地域の挑戦～広域連携と自治体DX～」 講師 会津地方振興局 局長 高野 武彦 氏

月 日	内 容
8. 5	ワークルール出前講座（福島少年鑑別所） 講師 事務局職員
8. 17	令和4年度第3回労働困りごと現地相談会 郡山商工会議所（新採用保育士合同研修会にブース設置）
8. 20	令和4年度第4回労働困りごと現地相談会 郡山商工会議所（新採用保育士合同研修会にブース設置）
8. 23	第1020回総会（本庁舎）
”	委員研修会（本庁舎） 「柔軟化する働き方と多様化する職場への労働組合の対応 ～いわゆる「非正規労働者」の処遇改善～」 講師 荒川 聡 委員（労働者委員）
9. 27	令和4年度第1回労働困りごと委員相談会 対応委員 駒田晋一会長（公益委員）
”	第1021回総会（本庁舎）
”	委員研修会（本庁舎） 「令和4年度北海道及び東北六県労働委員会連絡協議会研修会に係る 研修課題の検討について」
”	第528回公益委員会議（本庁舎）

月 日	内 容
10. 11	福労委令和4年（調）第1号事件（あっせん）申請受付
"	令和4年度個別調整第1号事件申請受付
10. 25	令和4年度第2回労働困りごと委員相談会 対応委員 黒川明彦委員（使用者委員）
"	第1022回総会（自治会館）
"	委員研修会（自治会館） 「第77回全国労働委員会連絡協議会総会の第3議題の事前検討について」
"	第529回公益委員会議（自治会館）
11. 1	令和4年度個別調整第1号事件不開始
11. 2	ワークルール出前講座（県立ふくしま新世高等学校） 講師 菅野恵委員（労働者委員）
11. 11	令和4年度「東北地区労使関係セミナー」 ・基調講演 「労使で取り組むハラスメントの防止 ～多様化する労働者の人格保護と使用者の責任～」 講師 皆川宏之氏（千葉大学大学院社会科学研究院教授） ・パネルディスカッション 「ハラスメントから身を守るためには ～本県におけるハラスメントの現状と課題～」 コーディネーター 駒田晋一会長（公益委員） パネリスト 皆川宏之氏（上掲） 榎 裕康委員（公益委員） 大槻光政委員（労働者委員） 石山純恵委員（使用者委員）

月 日	内 容
11. 16	ワークルール出前講座（私立福島東稜高等学校） 講師 荒川聡委員（労働者委員）
11. 17	福労委令和4年（調）第2号事件（あっせん）申請受付 第1023回総会（ふくしま医療機器開発支援センター）
11. 22	委員研修会（現地調査） ・「ふくしま医療機器開発支援センターについて」 講師 同センター長 小林 利彰 氏ほか
〃	・「アネスト岩田株式会社福島工場について」 講師 同工場長 矢内 洋幸 氏ほか
12. 2	令和4年度個別調整第2号事件申請受付
12. 7	福労委令和4年（調）第1号事件（あっせん）打ち切り
12. 8	ワークルール出前講座（県立湖南高等学校） 講師 大槻光政委員（労働者委員）
12. 12	ワークルール出前講座（福島少年鑑別所） 講師 事務局職員
12. 15	福労委令和4年（調）第2号事件（あっせん）打ち切り
12. 20	第1024回総会（自治会館）
〃	委員研修会（自治会館） 「私の労働史～15歳から79歳までの軌跡～」 講師 黒川 明彦 委員（使用者委員）
12. 27	令和4年度個別調整第2号事件不開始